



好学愛知 自律敬愛 質実剛健

鶴丸の言

鹿児島県立鶴丸高等学校

〒890-8502 鹿児島市薬師二丁目1番1号

TEL 099-251-7387 FAX 099-255-3433

http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/Tsurumaru/top.html

勝負の厳しさ

数学科 下之園 博文

今でも忘れられない勝負がある。今から十一年前の平成十六年の高校総体県予選の、お互い二勝同士で優勝をかけた国分高校との最後の試合。全員高校からハンドボールを始めた選手達は控え選手もあまりおらず、その前の試合でほとんどスタミナを消耗してしまっていた。彼らを支えていたものは、優勝するために毎日激しい練習を行い、その練習に耐えたプライドと精神力だけであった。

前半が始まった。自分の思いとは逆に二点差のリードで終了。選手も含めて、自分も「いける」と油断してしまったのかもしれない。同点引き分けでも、得失点差で優勝できるはずであった。後半終了二八分前、二点差でリードしていた。しかし、体力も限界の場面、あつという間に残り三十秒で同点。そして、逆に二点差をつけられて負けてしまった。もう一步のところで優勝を逃してしまつた。いろいろな人から、「いい試合だった」と言葉

をかけたが、自分は初めて「本物の勝負の厳しさ」や、実力だけでは「勝負」に勝てないことを知ることとなった。



さて、三年生はセンター試験まで残り約四ヶ月、個別試験まで五ヶ月の時期になった。いま果たしてどういう気持ちで学習に取り組んでいるだろうか。どの高校でも同じだと思うが、現役生にとって今からの学習が受験に大きな影響を与えることは間違いない。しかしそれには大事な条件がある。どんな学習課題に対しても常に本番という気持ちで真正面から自分と向き合っていくことだ。毎年のことではあるが、どうして浪人生と現役生を比べてしまうのは仕方ないことかもしれないが、やはり精神力

の面で浪人生の方が現役生よりも勝る部分がある。その理由としては上記に書いたが、「本物の勝負」を経験した強みがあるからだと思っている。本物の勝負においては、「本物の実力」しか通用しない。本物の勝負において「偶然」はありえない。「自分だけが運よく点数をとれるだろう」とか「自分だけが合格するだろう」とは、絶対にありえない。だからこそ、これからの学習において、三年生には本物の実力を身に付けるために、今以上に自分の志望大学、つまり「行ける大学」よりも「行きたい大学」を目指して頑張ってもらいたい。

また、一・二年生に特に伝えたいことは、本気で「文武一道」を目指してほしいということだ。口で言うのはとても簡単なことではあるが、文武一道を達成するために、当然越えなければいけない壁が山ほどある。ただそれとそれを自分の力で超えることで、本物の実力が必ず付くことを忘れてはいけない。逆に言えば、自分の力で成し遂げなければ、本物の実力は付かないということだ。私は部活の指導の中でよく生徒に「一部活動と学習は同じである。」と話す。本当にそう信じているし、生徒達にもそれを実感してほしいと思つているから。本物の勝負に勝つためには、自分に負けていては勝てないということを経験からいやといふほど思い知らされた。「つらい」、「きつい」、「無理だ」と考えるのは非常に簡単なことではあるが、君たちが一年後、二年後に実際に向き合わなければならない受験は、まさしく「本物の勝負」の世界なのだ。だからこそ、「いける大学」よりも「行きたい大学」を早く決定し、自分のモチベーションを上げて、「つらい」、「きつい」、「無理だ」と考えるよりも、自分自身が成長していく喜びを味わえる

ような高校生活を送ってもらいたい。最後に、私自身の好きな言葉で「奇跡は必然」という言葉がある。奇跡は偶然に起こるものではなく、自分の手で引き寄せなければならぬ。そのためには、それに見合うだけの努力が絶対に必要になってくる。そして次にその努力を続ける精神力も必要である。鶴丸は勉強するところである。よく言われるが、私自身はその言葉の意味を「鶴丸は自分を磨く場所である」と捉えている。いかに自分自身を一步でも成長させることができるか。可能性は無限大である。後ろを振り向くことなく、前だけを向いて後期も頑張っていこう。

翔鶴颯爽

〜思いよ清澄な空へ〜

九月五日、本年度のテーマ「翔鶴颯爽〜思いよ清澄な空へ〜」の下、第六十七回体



九月五日、本年度のテーマ「翔鶴颯爽〜思いよ清澄な空へ〜」の下、第六十七回体

明日の自分を重ねて

九月十二日、一・二年生のGO鶴セミナーが実施された。一年生は、本校卒業生をお迎えしての講義をいただき、二年生は、修学旅行中に卒業生の職場を訪問させていただいた際の報告発表会を実施した。



一年生には、十九名の先輩方が現在の仕事の話や高校時代の話など、実体験に基づく熱い講義を展開してくださつた。生徒からも活発に質問が飛び出し、有意義な時間となった。二年生は、文化館において修学旅行時



年応援団や生徒会執行部、とりわけ体育局の生徒たちや、各持ち場で運営を支えた各部活動の生徒たちの、大会を成功させようとする情熱を強く感じる体育祭であった。

鶴丸 be アンビシャス

十月十日、第六十七回文化祭が開催された。今年のテーマは、「鶴丸 be アンビシャス」であった。午前中体育館での舞台発表に始まり、午後からの食物パザールや展示開放、茶道部の茶会など様々な催しがあった。今年、戦後七十年目の節目の年にあたるということもあり、舞台発表や展示のテーマに平和の尊さを伝えるものや、日々の当たり前の出来事



入っていた。修学旅行においては、生徒を受け入れてくださった職場が四十四か所にも及んだ。今年もまた、時代を超えた鶴丸の結束の強さを感じられる機会となった。一・二年生ともに、大学進学のために広がる自分の未来を重ね合わせ、今後の人生設計を考える有意義な機会となった。また、先輩方の仕事に対する真摯な姿勢や思いのこもったお言葉に感謝を受け、大きな力を頂いたようである。

10・11月の行事予定

10月		宅習	時間調査
22	木		
23	金	出前講義	
24	土	悠学講座④ Z会東大説明会 3年全統記述	
26	月	全校朝会 いじめ問題を考えるLHR	
27	火	1・2年PTA欠席者会	
28	水	三年生を激励する会	
29	木	中掃除	
30	金	県高校国語部会総会・研究大会	
31	土	1・2年進研記述	
11月		かじりまの教育県民週間	定期教育相談
1	日		
2	月	学年朝会	
3	火	文化の日	
4	水	ロードレース大会説明会	
5	木	3年実力考査時間割発表 県高校家庭クラブ研究発表大会	
6	金	ロードレース大会	
7	土	3年進研マーク	
8	日	3年進研マーク 第2回英検二次試験	
9	月	全校朝会 学校安全の日	
11	水		
12	木	3年実力考査(1日目)	
13	金	3年実力考査(2日目)	
14	土	文化講演会	
16	月	学年朝会 集団読書(1,2年) 第2回学校関係者評価委員会	
20	金	卒業・中間考査時間割発表 中掃除	
21	土	悠学講座⑤	
23	日	勤労感謝の日	
30	月	卒業考査(1日目)	

【近隣にお住まいの皆様へ】 九月五日の体育祭、十月十日の文化祭開催に際しましては、応援練習や準備等でご迷惑をおかけしたと思っておりますが、皆様の寛大なるご理解とご協力により、両行事とも無事終了することができました。ありがとうございました。



九月五日の体育祭、十月十日の文化祭開催に際しましては、応援練習や準備等でご迷惑をおかけしたと思っておりますが、皆様の寛大なるご理解とご協力により、両行事とも無事終了することができました。ありがとうございました。